

2025年5月15日
南海電気鉄道株式会社

2025年度鉄道設備投資計画について

南海電気鉄道株式会社（社長：岡嶋 信行）では、「南海グループ経営ビジョン2027」に掲げる「良質で親しまれる交通サービスの提供」の実現を目指し、「NANKAI グループ中期経営計画2025－2027」を策定しました。重点戦略に掲げる「未来を拓く公共交通事業への変革」を踏まえ、将来の成長に向けた投資を集中的かつ確実に実行しながら、「南海グループ経営ビジョン2027」を完遂するべく、鉄道事業としては3年間で前中期経営計画の約3倍にあたる最大1,000億円の設備投資を計画しています。

2025年度は、「鉄道事業の持続可能性を高める安全・安定的な輸送基盤の強化」や、バリアフリー対策等の「社会的要請に応えるサービスの高度化」を推進し、社会に必要とされる価値を提供していくため、総額約250億円の設備投資を計画しています。

<2025年度 主な設備投資計画>

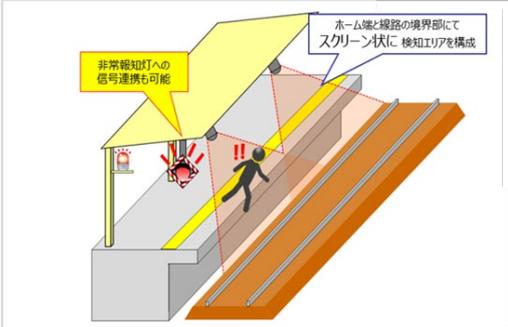
1. 鉄道事業の持続可能性を高める安全・安定的な輸送基盤の強化
 - (1) 駅ホームの安全性向上
 - (2) 車内防犯カメラ設置
 - (3) 自動運転
 - (4) ワンマン運転
 - (5) 駅ホーム施設更新
 - (6) 連続立体交差事業
 - (7) 耐震補強工事
 - (8) 防災工事
2. 社会的要請に応えるサービスの高度化
 - (1) 新たな観光列車の導入
 - (2) 車両新造・更新
 - (3) 駅舎リニューアル・バリアフリー化推進
 - (4) 駅トイレリニューアルプロジェクト

2025年度の主な設備投資計画の詳細は別紙のとおりです。

2025年度の主な設備投資計画の詳細

1. 鉄道事業の持続可能性を高める安全・安定的な輸送基盤の強化

(1) 駅ホームの安全性向上(ホームドア設置工事・転落検知センサー実証試験)

2025年度(予定)	2024年度(実績)
<p>◆中百舌鳥駅1・2番線において、ホームドア設置に向けた工事に着手します。</p> <p>◆新今宮駅1番線に、転落検知センサーを試験導入し、実証試験を開始します。</p>	<p>中百舌鳥駅3番線にホームドアを設置し、2025年3月から運用を開始しました。</p>
<div style="text-align: center;">  <p>転落検知センサー(イメージ図)</p> </div>	<div style="text-align: center;">  <p>中百舌鳥駅3番線ホームドア</p> </div>

(2) 車内防犯カメラ設置

列車内のセキュリティ向上と犯罪抑制のため、2023年6月から、通勤車両に車内防犯カメラを導入しています。2028年度末までに全車両での運用開始を目指します。

2025年度(予定)	2024年度(実績)
<p>◆新造車両8300系のほか50000系など、計152両に設置します。2025年度末には、全車両812両(ケーブルカー含む)のうち、51%の車両(412両)に設置完了予定です。</p>	<p>新造車両8300系のほか1000系など、計136両に車内防犯カメラを設置しました。</p>
<div style="text-align: center;">  <p>車内に設置している防犯カメラ</p> </div>	

(3)自動運転

2027年度に高師浜線においてGOA2.5自動運転を開始するため、環境整備を進めます。

今後の生産年齢人口減少により、乗務員の確保が難しくなるなか、持続可能な鉄道事業の実現を目指してまいります。

2025年度(予定)	2024年度(実績)
◆高師浜線におけるGOA2.5自動運転に必要な地上設備と車両改造のための詳細設計、および機器類等の製造を開始します。	2025年3月31日に和歌山港線における、自動運転実証試験を終了し、GOA2.5自動運転検討委員会において有識者による安全性等の評価を受けました。
【2024年度(実績)】	
 <p>和歌山港線での走行試験</p>	 <p>車両設備(乗務員操作部)</p>

(4)ワンマン運転

南海本線・泉佐野駅～和歌山市駅において、8300系車両を使用する4両編成「普通車」の一部を対象に、2025年3月22日からワンマン運転を実施しています。

自動運転の取り組みと同様に、持続可能な鉄道事業の実現を目指してまいります。

2025年度(予定)	2024年度(実績)
◆将来の全線ワンマン運転化に向けたハードウェア対策計画の策定を推進します。	ワンマン運転に伴うハードウェア対策(車両側面カメラ・進出用非常通報装置など)を整備し、泉佐野駅～和歌山市駅においてワンマン運転を開始しました。
【2024年度(実績)】	
 <p>車両側面カメラ</p> <p>8300系車両1両につき片側2台、計4台を設置</p>	 <p>車両側面カメラ</p>  <p>「進出用非常通報装置」 ワンマン運転を実施するすべての駅(14駅89か所)に設置</p>

(5) 駅ホーム施設更新

駅施設について、安全性向上・環境改善を目指し、各種改修工事を進めています。

2025年度(予定)	2024年度(実績)
<p>◆岸里玉出駅南海本線ホーム上家塗装改修工事を実施します。</p> <p>◆住吉大社駅および住吉東駅において、ホーム上家葺き替え工事を実施します。</p>	<p>・滝谷駅駅舎・跨線橋・ホーム上家改修工事を実施しました。</p> <p>・みさき公園駅屋根・外壁改修工事を実施しました。</p> <p>・春木駅下りホーム待合室建替工事を実施しました。</p>
<p>【2024年度(実績)】</p>	
 <p>滝谷駅 駅舎・跨線橋・ホーム上家改修工事</p>	 <p>みさき公園駅 屋根・外壁改修工事</p>
 <p>春木駅 下りホーム待合室建替工事</p>	

(6) 連続立体交差事業

【高石市内(南海本線・高師浜線)】

2024年4月に鉄道高架化を完了しました。引き続き高架下整備工事等を施工中です。

【堺市内(南海本線)】

諏訪ノ森駅～浜寺公園駅間の一部区間で高架橋工事を施工中です。また石津川駅～諏訪ノ森駅間、浜寺公園駅～羽衣駅間においても順次基礎工事に着手します。

【堺市内(高野線)】

2022年3月に堺市にて都市計画事業認可を取得し、2023年10月に基本協定書を締結。引き続き堺市と協力しながら鉄道の詳細設計や準備工事を進めていきます。



堺市内(南海本線) 高架橋工事の様子

(7) 耐震補強工事

南海トラフ巨大地震などの今後発生が予測される大規模地震に備えて、駅舎や高架橋柱などの耐震補強を計画的に実施しています。

2025年度(予定)	2024年度(実績)
<p>◆今宮戎駅～菘ノ茶屋駅、粉浜駅～住吉大社駅、堺駅～湊駅、岸和田駅～蛸地蔵駅、貝塚駅～二色浜駅、泉佐野駅～りんくうタウン駅にて高架橋柱の耐震補強工事を実施します。</p> <p>◆樽井駅および淡輪駅の駅舎、ならびに住ノ江検車庫の耐震補強工事を実施します。</p>	<p>難波駅～新今宮駅、住ノ江駅～湊駅、貝塚駅～二色浜駅、泉佐野駅～羽倉崎駅、三日市町駅～美加の台駅にて高架橋柱の耐震補強工事を実施しました。</p>

【2024年度実績】



七道駅～堺駅 内川放水路耐震補強工事



三日市町駅～美加の台駅 加賀田高架橋耐震補強

(8) 防災工事

【橋梁の洗掘防止対策工事】

河川の増水や急激な流れの変化により橋脚基礎部分の土砂が流され、橋脚が傾くことを防ぐため、計画的に洗掘防止対策工事を実施しています。

【斜面防災工事】

豪雨等により斜面が崩壊することを防止するため、斜面補強工事を計画的に実施しています。

2025年度(予定)	2024年度(実績)
<p>◆【橋梁の洗掘防止対策工事】</p> <p>高野線紀ノ川橋梁1橋脚の洗掘防止対策工事を実施し、当該橋梁の対策工事が完了します。</p> <p>◆【斜面防災工事】</p> <p>千代田駅～河内長野駅間で斜面補強工事を実施します。</p>	<p>【橋梁の洗掘防止対策工事】</p> <p>高野線紀ノ川橋梁1橋脚の洗掘防止対策を実施しました。これにより、当該橋梁で対策予定の4橋脚のうち3橋脚が完了しました。</p> <p>【斜面防災工事】</p> <p>箱作駅～淡輪駅間で斜面補強工事を実施しました。</p>

【2024年度(実績)】



高野線紀ノ川橋梁1橋脚の洗掘防止対策を実施



箱作駅～淡輪駅間 斜面防災工事を実施

2. 社会的要請に応えるサービスの高度化

(1) 新たな観光列車の導入

世界遺産・高野山となんばを結ぶ、新たな観光列車を2025年度末に運行することを目指しています。

2025年度(予定)
<p>◆高級感あふれる新たな観光列車を、難波駅から極楽橋駅間(4両編成)で運行します。</p> <p>高級感を重視した内装やインテリア、快適な座席とパノラマビューを楽しめる車窓などを採用するほか、地元の食材を使用したお食事の提供も計画しています。</p>



車内イメージ(現時点のもので実際は変更になる可能性があります)

(2) 車両新造・更新

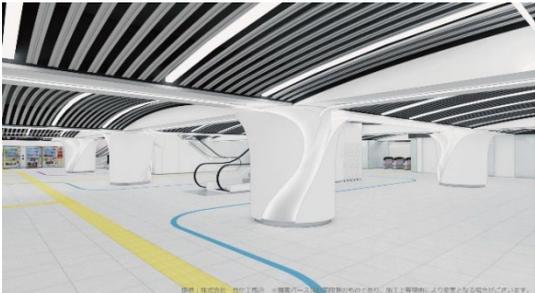
「省エネルギー化」、「安全・サービスの向上」、「車両メンテナンスの向上」を目指して開発した「人と環境に優しい車両」である8300系車両を2025年度～2027年度までに40両導入します。

8300系車両は2015年度より導入をはじめ、2024年度末時点で136両を導入しました。

2025年度(予定)	2024年度(実績)
◆8300系車両を12両新造します。	8300系車両を12両新造しました。
	
8300系車両	

(3) 駅舎リニューアル・バリアフリー化推進

お客さまの利便性・快適性の向上を目指し、駅舎の美装化とバリアフリー化に取り組みます。

2025年度(予定)	2024年度(実績)
◆難波駅中央口リニューアル工事(2期・高野線側)、紀ノ川駅(エレベーター整備など)及び御幸辻駅(ホーム嵩上げなど)のバリアフリー化工事を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・難波駅2階中央口(1期・南海線側)の美装化を実施しました。 ・難波駅2階中央口、新今宮駅の階段先端明示のほかバリアフリー化工事を実施しました。 ・紀見峠駅、紀伊清水駅、九度山駅において内方線付き点状ブロック設置工事を実施しました。
 <p>難波駅2階中央改札口:リニューアル後のイメージ</p>	 <p>九度山駅:内方線付き点状ブロック</p>

(4) 駅トイレリニューアルプロジェクト

2016年度から駅トイレリニューアルプロジェクトを推進しており、2025年度には、対象全91駅中の77駅のリニューアルが完了します。

2025年度(予定)	2024年度(実績)
◆羽倉崎駅、三国ヶ丘駅、三日市町駅、御幸辻駅、高野山駅の5駅のトイレをリニューアルします。	萩ノ茶屋駅、湊駅、和歌山大学前駅、白鷺駅、狭山駅、滝谷駅、河内長野駅の7駅のトイレをリニューアルしました。

【2024年度実績】



リニューアルした河内長野駅のトイレ